

“夏の足工” 伝統校のプライドを胸に

ASHIKAGA TECHNICAL High School Baseball Club News

JUL 2016 Vol. 4

夏の大会では多くのご声援を頂き、ありがとうございました。熱い応援に後押しされ、スタンドと一体となって戦っていることが実感できました。選手は心強かったことと思います。

初戦となった那須・那須海城戦は7回コールドの13対3。大会初戦ということで硬さもありましたが、嬉しい大会での勝利を飾りました。やはり清原球場で歌う校歌は格別でした。そして迎えた2回戦は、春の準優勝校である青藍泰斗が相手。選手は優勝候補を相手にも、正面から堂々と戦いました。結果は延長10回に及ぶ熱戦の末、1対2でのサヨナラ負けとなりましたが、チームが一丸となつての戦いは、このチームのベストゲームでした。“足工魂”を体現した戦いを後輩に見せてくれたという点でも足工野球部にとって大きな財産であり、3年生には胸を張って欲しいと思います。“このチームでもっと野球がやりたい”と思う、好チームでした。選手は本当によく頑張りました。

また、集計してみると昨夏の新チーム結成から82試合を消化し、通算成績は21勝55敗6分けという戦績でした。振り返れば、教職員の異動の関係で監督も代わり、部員は戸惑うことも多かったと思います。遠藤主将を中心に不満を顔に出すこともなく、ついてきてくれた部員には感謝しています。決して順風満帆な1年ではなかったはずですが、そんな中でも深夜2時過ぎまでの練習を敢行した第1回強化合宿。第2回の合宿では、60本ダッシュ等にも取り組みました。そして何より、学校生活との両立に苦労しながらも頑張りを抜いた日々の練習と本当に様々なことがありました。3年生の頑張りに、頭の下がる思いです。ご苦労様でした。

3年生にはこれから、それぞれの希望する進路実現に向けて努力して欲しいと思います。グラウンドでの頑張りがあれば、何でもできるはずです。足工のユニフォームを着て3年間野球をやり遂げたことに誇りを持って下さい。そして、3年生の保護者の皆様、短い時間ではありましたが、ありがとうございました。おかげさまで良い環境の中、思い切り野球をやることができました。これからも足工野球部は良き伝統を引き継ぎ、努力し続けます。今後も変わらぬご支援をお願いします。

